

2025 年度事業報告について

1.全体概況

- 2025 年度は、事業活動に影響を及ぼすような、突発的な外的要因の発生や計画外の大規模修繕等が無く、会館事業全体の当期経常増減額は計画を上回る実績となったことから、流動資産が増加し財務体質の強化がはかられることとなりました。
- 当期の大きな特徴点として、2024 年度末に公益目的支出計画における公益目的財産残額が『零』となったことを受け、2025 年度期中において、行政宛て(埼玉県)に関連する報告を行った結果、最終的に「公益目的支出計画完了の確認書」を受領したことが挙げられます。これにより正式に一般財団法人移行(2014.4.1)に関する手続きがすべて完了となりました。(詳細は報告事項-第2)

従って、公益目的実施事業について 2025 年度以降継続する必要性が無くなり、同時に事業に対する行政(埼玉県)からの監督も終了しました。

- 当会館は、労働界・福祉事業団体の総意により、「働く人々の福祉の増進をはかるため多角的な運営のできる会館づくり」を設立趣旨に掲げ、埼玉県をはじめ各自治体のご理解と大きな協力をいただく中、昭和 54 年(1979 年)9 月に営業が開始され、2025 年度末には 46 年超の月日が経過することとなりました。

会館設立時は、各福祉事業団体が入居する他、結婚式場や宴会場・会議研修施設、更にはレストラン・宿泊施設等を備えた営業形態でありましたが、時代とともにその事業内容は変化し、現在は宿泊施設の利用あるいは会議室利用等を残す他は、貸室(テナント)業務が概ね事業の中心となっています。

こうした経営環境の中、テナント先の変更等による急激な経営環境の変化に備え、将来に向けて安定した会館運営を行う為に更なる財務体質強化に努めることとし、事業計画に沿い修繕積立(30,000 千円)を実施しました。

・下表が、当期 1 年間の会館運営全体の事業実績概況となります。

2025年度事業実績一覧表

部 門 科 目	2-(1)収益事業会計				2-(2)法人会計				1-全体概況			
	事業部門計				管理部門計				合 計			
	計画	実績	差異	達成率	計画	実績	差異	達成率	計画	実績	差異	達成率
経常収益計	212,736	215,078	2,342	101.1	268	771	503	287.7	213,004	215,850	2,846	101.3
事業費計	164,869	152,796	△ 12,073	92.7					164,869	152,796	△ 12,073	92.7
管理費計					24,322	21,649	△ 2,673	89.0	24,322	21,649	△ 2,673	89.0
経常費用計	164,869	152,796	△ 12,073	92.7	24,322	21,649	△ 2,673	89.0	189,191	174,446	△ 14,745	92.2
当期経常増減額	47,866	62,281	14,415	130.1	△ 24,054	△ 20,877	3,177	-	23,811	41,403	17,592	173.9

(単位：千円・端数切捨、%)

(1) 経常収益 (事業収入)

2025 年度の会館事業全体の事業収入(経常収益)は、215,850 千円となり、当期予算額(事業計画)213,004 千円に対して、達成率は 101.3%となりました。

— 「2025 年度事業実績一覧表」1-全体概況 欄 参照

過年度からの実績推移は下表の通りです。

年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
経常収益	261,321	224,057	206,909	252,131	205,215
年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
経常収益	210,082	212,939	222,080	208,985	215,850

(千円単位端数切捨)

(2) 経常費用

一方、事業費用と管理費用の合計となる経常費用は、174,446 千円となり、当期予算額(事業計画)189,191 千円に対して、執行 (達成)率は 92.2%に収めることができました。— 「2025 年度事業実績一覧表」1-全体概況 欄 参照

過年度からの実績推移は下表の通りです。

年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
経常費用	223,350	182,350	186,224	203,484	169,179
年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
経常費用	182,166	177,541	181,834	176,898	174,446

(千円単位端数切捨)

(3) 経常増減額 (収支差額)

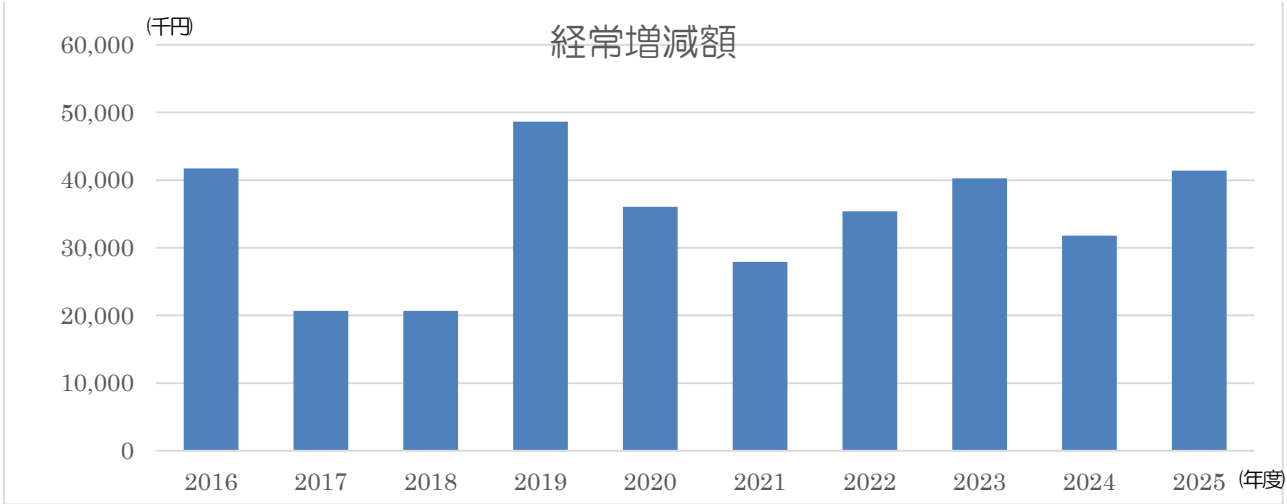
この結果、(1)の経常収益 (事業収入)から(2)の経常費用を差し引いた経常増減額 (収支差額)は、41,403 千円の増加となりました。

各事業年度における収支差額は、当該年度の修繕内容等を要因とした経常費用支出の多寡に左右されることがあるものの、当期予算額(事業計画)である 23,811 千円を 17,592 千円上回り、達成率は 173.9%となり大きな予算超過実績を残すことができました。—「2025 年度事業実績一覧表」1-全体概況 欄 参照

過年度からの実績推移は下表の通りです。

年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
経常増減額	41,752	20,685	20,685	48,646	36,035
年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
経常増減額	27,916	35,398	40,245	32,086	41,403

(千円単位端数切捨)



2.事業別(会計別)の状況及び実績について

※ 公益目的実施(継続)事業会計

当該事業会計は、2024 年度末において公益目的支出計画が完了したことに伴い 2025 年度以降の実績計上はありません。

ただし、勤労者・学生向けの宿泊業務自体は継続していることから、該当する事業(売上)実績は次項の収益事業に一本化しています。

(1) 収益事業(事業部門)

- ・実施(継続)事業の終了に伴い、2025 年度以降の会館運営は基本的に収益事業のみとなります。現在収益事業として、宿泊(2024 年度までの公益目的実施事業と従来からの一般利用者向け宿泊業務を統合)・貸室・販売(金券類販売、自販機、喫茶等)・会議室・駐車場の 5 つの事業を行っております。
- ・収益事業の中心となる貸室事業については、テナントの変更がなくほぼ計画どおりの実績となった他、他の事業についても大きなマイナス要因となるものはなく安定的な実績となりました。
- ・宿泊利用者実績推移は下表の通りとなります。当期の利用者数は 2,009 名となり、前年度を若干下回る結果となりました。

年 度 利用属性	年 度							2025年度	
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度			
学生・勤労利用客数	2,303	382	646	840	1,427	1,472	実施 事業	1,346	収 益 事 業
うち小学生	385	1	2	110	201	90		88	
うち中高大生	859	36	245	174	282	347		338	
うち勤労者	1,059	345	399	556	944	1,035		920	
一般利用客数	399	45	103	472	715	632	収益事業	663	
宿泊者計	2,702	427	749	1,312	2,142	2,104		2,009	

(のべ人数)

- ・会議室利用数実績推移は下表の通りとなります。利用数は前年並みとなりました。

年 度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
利用室数	697	651	617	754	651	661	663

半日・終日・延長それぞれ1カウント(のべ回数)

- ・こうした各事業実績により、収益事業全体の経常収益は215,078千円となり、当期予算(事業計画)212,736千円に対し101.1%となりました。一方の経常費用は152,796千円となり当期予算(事業計画)の164,869千円に対し執行率92.7%に収めることができました。この結果、経常増減額(収益－費用)も62,281千円となり、当期予算(事業計画)の47,866千円を14,415千円上回り130.1%の達成となりました。 — P2「2025年度事業実績一覧表」2-(1)収益事業会計 欄 参照

- ・各事業別の実績は下表の通りとなりました。

【費用(事業費)は、各事業に必要な面積(減価償却・共益費等)や従事割合(人件費等)によって按分されます。また、その年度により、特別に支出した経費：例えば会議室に使用する机・駐車場に必要な精算機の改修等は当該事業の経費となります。】

- ・事業別では、宿泊・販売・会議室事業の経常増減額がマイナス収支となり、貸室及び駐車場事業の経常増減額がプラス収支となりました。
- ・この収益事業において貸室事業(テナント収入)の収益比率が非常に高く、売上(経常収益)では全体の68%、経常増減額で見ると全体の119.5%を占めており、正に会館運営の根幹となっていることが、大きな特徴点となっています。

収益事業(事業部門別)収支状況

部 門	科 目	年間予算	2025年実績	達成率	収益事業に占める割合
宿泊事業	経常収益	7,028	7,893	112.3	3.7
	経常費用	20,516	18,941	92.3	12.4
	経常増減額	△ 13,488	△ 11,048	-	△ 17.7
貸室事業	経常収益	146,308	146,187	99.9	68.0
	経常費用	74,041	71,761	96.9	47.0
	経常増減額	72,266	74,425	103.0	119.5
販売事業	経常収益	28,000	29,024	103.7	13.5
	経常費用	34,277	29,084	84.9	19.0
	経常増減額	△ 6,277	△ 60	-	△ 0.1
会議室事業	経常収益	17,000	17,165	101.0	8.0
	経常費用	22,148	19,563	88.3	12.8
	経常増減額	△ 5,148	△ 2,398	-	△ 3.9
駐車場事業	経常収益	14,400	14,808	102.8	6.9
	経常費用	13,885	13,445	93.8	8.8
	経常増減額	514	1,362	265.0	2.2
収益事業計	経常収益	212,736	215,078	101.1	100
	経常費用	164,869	152,796	92.7	100
	経常増減額	47,866	62,281	130.1	100

(千円単位端数切捨・%)

- ・各事業別の過年度売上（計上収益）実績推移は、下表の通りとなります。

事業別売上（経常収益）推移

年度		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
収益事業	実施事業（継続）	6,194	6,679	5,816	6,433	1,300
	宿泊事業（一般）	3,547	3,307	2,561	2,218	625
	貸室事業	140,688	146,012	139,547	147,304	142,372
	販売事業	8,600	30,714	25,474	32,571	26,035
	会議室事業	20,125	20,454	19,144	19,039	19,845
	駐車場事業	12,159	15,657	14,353	14,552	15,022
（法人会計）		70,004	1,231	12	30,012	13
合計		261,321	224,057	206,909	252,131	205,215
年度		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	
収益事業	実施事業（継続）	2,012	2,547	4,309	4,628	
	宿泊事業（一般）	982	2,658	3,830	3,449	
	貸室事業	148,606	142,372	148,489	140,281	
	販売事業	26,350	29,063	32,469	27,804	
	会議室事業	17,059	20,979	17,690	17,963	
	駐車場事業	15,060	15,109	15,268	14,713	
（法人会計）		11	209	21	144	
合計		210,082	212,939	222,080	208,985	
年度		2025年度				
収益事業	宿泊事業	7,623	※2017年度金券類（クオ・VJA）販売開始			
	貸室事業	146,401				
	販売事業	27,911	※2016年度（株）勤労者サービスより7,000万寄付あり			
	会議室事業	17,229				
	駐車場事業	14,723	※2019年度福祉基金協会より3,000万寄付あり			
（法人会計）		630				
合計		214,517				

（千円単位端数切捨）

（2）法人会計（管理部門）

- ・会館運営における管理部門費用となる法人会計（管理費）は、当期予算（事業計画 24,322 千円）に対し 21,447 千円となり執行率 88.2%に収めることができました。また、預金利息の上昇等により収益も 268 千円の当期予算（事業計画）に対し 630 千円となりました。
- ・この結果、法人会計（管理部門）の経常増減額は当期予算（事業計画）の△24,054 千円を 3,228 千円下回る △20,816 千円となりました。—P2「2025 年度事業実績一覧表」2-（2）法人会計 欄 参照

以 上